

名古屋市立大学 総合生命理学部・大学院理学研究科

理学サロン 第13回

ノーベル賞記念・zoom拡大版

演者：木村 幸太郎（理学研究科・教員）

話題：今年のノーベル生理学・医学賞について
～マイクロRNAをめぐる冒険～

日時：2024年12月10日（火）17:00-18:00

場所：タキテリア2階（先着30名程度） + zoom
（zoom linkは、メールをご覧ください）

聴衆：総合生命理学部、理学研究科に関連する皆さん
および名市大全学の皆さん

理学研究科では、年に数回「理学サロン」を開いて、教員・院生・学部学生（そしてたまには事務の方々）が、最先端の研究の話をリラックスしながら聞き、議論する機会としています。特に秋は、関係する教員がノーベル賞の内容について紹介したりしています。

今年のノーベル生理学・医学賞は「マイクロRNA」の発見に関してでしたが、木村はまさにこのマイクロRNAの研究が爆発的に発展する直前の時期に、受賞者の一人であるGary Ruvkun博士の研究室に留学していました。そして、同僚達が常識に捕らわれ、悩み、さまよった末に真実にたどり着く姿を見てきました。

今回のサロンでは、マイクロRNAの解説とともにその舞台裏を紹介したいと思います。

世話人：木村幸太郎 kokimura@nsc.nagoya-cu.ac.jp